

11月「サポートセミナー」だより (全4ページ)

*セミナーについてのご意見・ご感想、ありがとうございました。



11月26日(土)、鳥取市総合福祉センターにて、後期「サポートセミナー」を開催しました。
12月4日(日)には、米子コンベンションセンターにて、同セミナーを予定していましたが、コロナ感染者急増等のため、「Zoom」によるオンライン・セミナーに切り替えました。

この「サポートセミナー」は、10月に開催した「不登校対策セミナー (Basic コース)」に参加された皆さんの取り組みをサポートしたり、新たな学びによる実践力のアップをねらいとしたセミナーです。
少人数のよさを生かしながら、セミナーを進めました。

◆参加された皆さんのご意見・ご感想について・・・

セミナーに参加された皆さんから、**ご意見・ご感想**をいただきました。その中で、「セミナーだより等に活用してもよい」と、OKをいただいた方のご意見・ご感想をいくつか紹介します。

互いに情報を共有し合うことで、セミナーで学んでいただいたことの理解がさらに深まり、今後の実践力のアップにもつながると思います、・・・まとめました。

HPをご覧になっている方にも、子どもさんとの関わり方の参考にさせていただけたら幸いです。

*ご本人のお考えを尊重し、**本文をほぼそのまま**、記載させていただきました。



【保護者 A さん】

<感想・意見など>

- ・前回 (10月のBasicコース) につづき、とても勉強になりました。
- ・復習もあり、今日から実行しようと思います。

<印象に残った内容・参考になった内容>

- ・**ねぎらいの言葉かけ**、「大変だなあ」という所です。
- ・私の意見を言わない。**夫婦仲**、良くもしてみます。

【セミナー担当から・・・】

- *子どもの気持ちや考えに共感しているつもりでも、**無意識のうちに**、親の価値観を押し付けている自分に気づき、ハッとすることがあります。
そのことに、Aさんは気づかれたのですね。

【祖父母 B さん】

<感想・意見など>

- ・とても参考となる事ばかりでした。
- ・不登校の子どもさんはもちろんですが、(セミナーの内容は) 他の子どもさんの子育てにも、とても参考になります。
- ・不登校の子の学校の**居場所**を確保するのがむずかしいです。友人がほとんどいません。

<印象に残った内容・参考になった内容>

- ・マズローの「**欲求階層論**」が、よく分かりました。今、私が、つまづいている所がよく分かりました。

【セミナー担当から・・・】

- *子どもさんの再登校につなげていくには、**ご家族一人一人の愛着パワー**をより高めていくこと、**学校での居場所づくり**が、大切な力を握っているように思います。

【保護者 C さん】

<感想・意見など>

- ・引き続き、心と時間にゆとりをもって、子どもと楽しく接していけるように、心がけたいと思います。

<印象に残った内容・参考になった内容>

- ・「深い共感」にするための5つの条件が、いまだにできておらず、・・・
踏み込み過ぎて、子どもに反感をもたれることが多いので、応援する気持ちで声かけに気をつけたいと思います。

【セミナー担当から・・・】

- * おっしゃるように、・・・
子どもの領域と親の領域の間に、「一線を引く」ことは大事なことです。特に、思春期の子どもには、とても大切です。
- * 「一線を引く」とは、子どもの領域に深く入り込まないということ。言い方を換えると、深く入り込まないということは、・・・
子どもを「信頼する」「任せる」ことです。



【保護者 E さん】

<感想・意見など>

- ・「父親と子どもの関係がよくて、母親と子どもの関係がよくて、・・・父親と母親の関係がよくないと、安定した「愛着関係」が築けなかったり、子どもにマイナスの影響を与えたりすることがある」という研究についてのお話を聞き、ハッとしました。
- ・子どもが登校しやすくなる環境を整えていく事は、親の大事な役割なんだと思いました。

<印象に残った内容・参考になった内容>

- ・不登校の5つの要因についてのお話を聞き、自分の心の中でも、整理ができました。

【セミナー担当から・・・】

- * 日々の学校生活の中で、子どもは、困り感やつまずきを感じていることがあると思います。その気持ちをていねいに聞いてあげる時間が持てると、・・・いいですね。



【保護者 D さん】

<感想・意見など>

- ・日々の実践（具体的な関わり方）を考えるためのヒントをいただけて、とても参考になりました。

<印象に残った内容・参考になった内容>

- ・「正しい共感」から「深い共感」へのバージョンアップ・ポイントについてのお話が、とても参考になりました。
- ・マズローの「欲求階層論」も、とても参考になりました。

【セミナー担当から・・・】

- * Fさんご夫婦は、セミナーで学んでいただいたことをもとに、安定した「愛着関係（アタッチメント）」を築く取り組みを、約1年間積み上げてこられました。
- * 子どもさんの心も安定し、進路も決まってよかったですね。
- * 「昨日は、2時間、子どもとの会話が弾みました」の一言には、皆、ビックリでした。

【保護者 F さん】

<感想・意見など>

- ・「子どものために」と話していることが、上から目線であることに気づきました。
- ・「正しい共感」から「深い共感」へ、レベルアップができるよう、心がけていきたいと思いました。

<印象に残った内容・参考になった内容>

- ・不登校の子ども「学力保証と進路」のお話が、参考になりました。

【セミナー担当から・・・】

- * 子どもさんに、ポジティブ（肯定的）な反応があるときは、Fさんの「共感」が子どもさんの心に響いているときです。

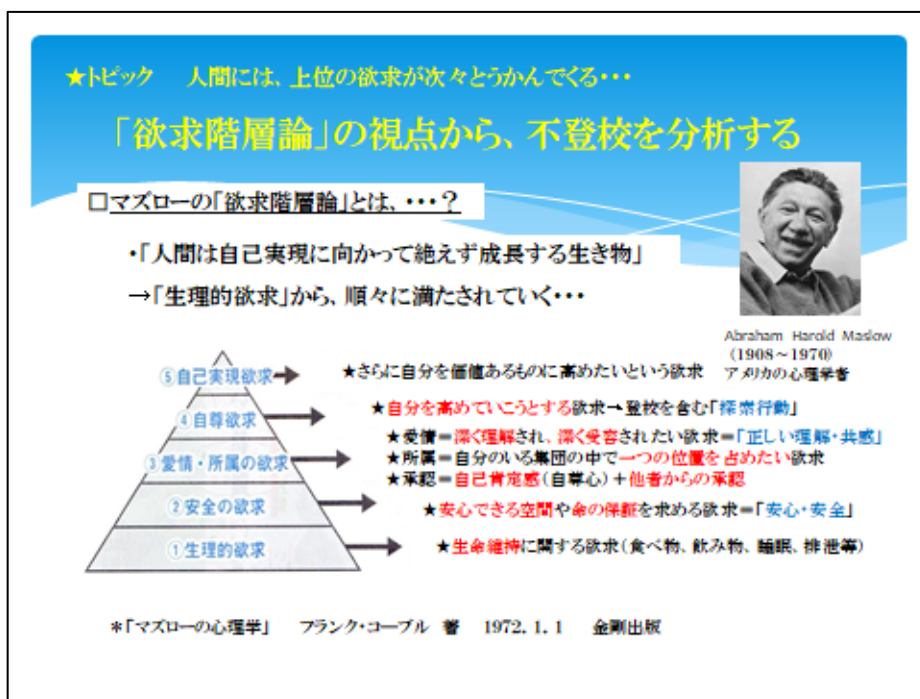
◆「欲求階層論」をもとに、不登校の改善につなげる「関わり方」を考える！

*セミナーに参加された皆さんから、「欲求階層論」が参考になったというご意見・ご感想を、多くいただきました。そういうことであれば、HPをご覧の方にもお伝えしたいと思い、・・・まとめました。

不登校の子どもをより深く理解しようとするとき、「愛着（アタッチメント）理論」と同じように、マズローの「**欲求階層論**」が、とても参考になります。

マズローは、「人間は自己実現に向かって絶えず成長する生き物である」とし、その欲求は、・・・下図に示すように、5段階の階層から成り立っているという「**欲求階層論**」を打ち立てました。

以下、不登校の子どもへの理解と対比させながら、その要旨についてお伝えします。



マズローによると、

人間の欲求は、根源的な欲求である「生理的欲求」から順々に満たされていくもので、・・・

もし、途中で、どれかの**欲求が満たされていない**と、その上の段階の欲求を満たすことはできない・・・と述べています。つまり、上の段階には進めないということです。

反対に、もし、ある段階の**欲求が満たされると**、その段階の満足感は感じられなくなり、その上の段階への欲求が高まっていくとも・・・指摘しています。

◆**第1段階の「生理的欲求」とは、・・・「生命を維持したいという欲求」**です。

例えば、食事、睡眠、排泄などがあります。

◆**第2段階の「安全の欲求」とは、・・・「安心できる空間や命の保証を求める欲求」**です。

この欲求は、「愛着理論」が重視する「安心・安全」にあたります。

◆第3段階の「愛情・所属の欲求」とは、「誰かに認められたい、尊敬されたいという欲求」です。

この欲求には、「愛情」「所属」「承認」という3つの欲求が含まれています。

例えば、「愛情」とは、・・・「深く理解され、深く受容されたいという欲求」です。これは、・・・「愛着理論」で言う、「正しい理解」「正しい共感」にあたります。

誰に理解され、誰に受容されたいかと言いますと、・・・

それは、父親、母親であり、祖父母であり、先生や友だち、先輩、恋人など、子どもの周囲環境にいる多くの人々です。

◆第4段階の「自尊欲求」とは、・・・「自分を高めていこうとする欲求」です。

これは、「愛着理論」で言う、「自らの世界を拡大していこうとする「探索行動」」にあたります。

学校へ登校することは、「探索行動」です。

つまり、学校へ登校することは、この第4段階の欲求を満たそうとする行動・・・という訳です。

以上のことを要約すると、

学校へ登校するという第4段階の「自尊欲求」に、子どもが達するためには、・・・

その下の、第1段階～第3段階までの全ての欲求が、順々に満たされていくことが不可欠です！

・・・という訳です。

子どもさんは、・・・現在、どの段階までの欲求が満たされていますか？

子どもさんの心の安定を図るためにも、

不登校の改善につなげていくためにも、

もし、子どもさんに満たされていない欲求があれば、それをしっかり満たしてあげる関わり方を、心がけていけるといいですね。



文責 西村明倫（カウンセリング&セラピー「クローバー」代表、「鳥取タンポポの会」アドバイザー）

公益社団法人日本心理学会認定心理士

メンタル心理カウンセラー

一般社団法人日本 TFT 協会診断レベルセラピスト

★令和4・5年度「不登校対策セミナー」について（お知らせ）

*令和4年度の「不登校対策セミナー」の予定は、全て終了しました。

*令和5年度のセミナーは、・・・

前期「不登校対策セミナー（Basicコース）」（6月予定）から、順次、開催していきます。

期日・会場等が決まりましたら、「クローバー」のHPや新聞などでお知らせをします。